



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場会社名 サンコール株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5985 URL <https://www.suncall.co.jp>
 代表者 （役職名）代表取締役 （氏名）奈良 正
 問合せ先責任者 （役職名）代表取締役 専務執行役員 管理本部長 （氏名）金田 雅年 TEL 075-881-5280
 半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 2025年12月10日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	27,281	△9.9	4,066	—	4,179	—	3,395	—
2025年3月期中間期	30,281	20.3	27	—	△321	—	△1,068	—

（注）包括利益 2026年3月期中間期 3,063百万円（-％） 2025年3月期中間期 △2,328百万円（△289.1％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	112.12	—
2025年3月期中間期	△35.47	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	53,786	29,708	55.2
2025年3月期	60,175	26,592	44.2

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 29,708百万円 2025年3月期 26,592百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	5.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	10.00	15.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正につきましては、本日（2025年11月14日）公表いたしました「2026年3月期配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,500	△21.0	5,800	68.5	5,900	86.9	4,500	—	148.58

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	34,057,923株	2025年3月期	34,057,923株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	3,766,442株	2025年3月期	3,860,518株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	30,281,257株	2025年3月期中間期	30,137,847株

(注) 自己株式数には業績連動型株式報酬制度に係る信託口に残存する当社株式が含まれております。

(自己株式数 2026年3月期中間期 145,800株 2025年3月期 239,500株)

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況.....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況.....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10
3. 海外売上高	12

1. 経営成績等の概況

経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、地政学的な緊張の長期化に加え、金融政策の動向や為替の変動、さらには米国の関税措置の影響などが重なり、先行きの不確実性は依然継続した状況となっております。

また、わが国経済においては、賃上げや個人消費の持ち直しが景気の下支え材料となる一方、不安定な為替相場や継続する物価高によるコスト負担が依然重荷となり、全体として力強さを欠いた状況となっております。

当社グループの事業領域である電子情報通信分野では、生成AIの普及やクラウドサービスの拡大を背景に、データセンター向け需要が引き続き堅調に推移しております。

当社グループの業績はこのような外部環境のもとで、HDD用サスペンション事業からの事業撤退に伴う売上減少の影響が大きく、売上高は272億81百万円(前年同期比9.9%減)となりました。

利益面では、データセンター向け需要が好調であり、通信関連の売上増加に伴い利益が増加し、営業利益は40億66百万円(前年同期は27百万円の営業利益)、作業屑売却益などの発生により経常利益は41億79百万円(前年同期は3億21百万円の経常損失)となりました。また、親会社株主に帰属する中間純利益は33億95百万円(前年同期は10億68百万円の親会社株主に帰属する中間純損失)となりました。

《セグメントの業績》

[日本]

HDD用サスペンション事業からの事業撤退に伴う売上減少の影響により、セグメント売上高は158億94百万円(前年同期比18.6%減)となりました。利益面ではHDD用サスペンションの過年度における固定資産減損計上による減価償却費負担軽減および訴訟案件和解による弁護士費用の減少などにより、セグメント利益は17億12百万円(前年同期は5億4百万円のセグメント損失)となりました。

[北米]

アメリカ子会社において通信関連の販売が増加する一方で、メキシコ子会社における材料関連製品の販売減少があり、セグメント売上高は44億26百万円(前年同期比14.4%減)となりました。セグメント利益は各子会社における収益性の改善により3億89百万円(前年同期は3億33百万円のセグメント損失)となりました。

[アジア]

通信関連での販売増加により、セグメント売上高は83億90百万円(前年同期比22.2%増)、セグメント利益は23億35百万円(同85.8%増)となりました。

[欧州]

通信関連の販売増加により、セグメント売上高は38百万円(前年同期比75.7%増)、セグメント損失は16百万円(前年同期は11百万円のセグメント損失)となりました。

《製品区分別の売上業績》

製品区分の名称	前中間連結会計期間		当中間連結会計期間		増 減	
	自 2024年4月1日 至 2024年9月30日		自 2025年4月1日 至 2025年9月30日			
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	前期比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
材料関連製品	4,657	15.4	3,750	13.7	△906	△19.5
自動車関連製品	13,998	46.2	13,971	51.2	△26	△0.2
自動車分野	18,655	61.6	17,722	64.9	△932	△5.0
HDD用サスペンション	7,599	25.1	3,865	14.2	△3,733	△49.1
プリンター関連	2,065	6.8	1,831	6.7	△234	△11.3
通信関連	1,706	5.7	3,601	13.2	1,895	111.1
電子情報通信分野	11,370	37.6	9,298	34.1	△2,072	△18.2
その他製品	254	0.8	260	1.0	6	2.4
合 計	30,281	100.0	27,281	100.0	△2,999	△9.9

(自動車分野)

[材料関連製品]

材料関連製品は、主要顧客の受注減少により、前年同期から減少しました。その結果、売上高は37億50百万円（前年同期比19.5%減）となりました。

[自動車関連製品]

自動車関連製品は、前年同期に販売停滞影響のあった日本セグメントにおいて増加となる一方、北米での売上が減少し、売上高は139億71百万円（前年同期比0.2%減）となりました。

(電子情報通信分野)

[HDD用サスペンション]

HDD用サスペンションは、前連結会計年度よりデータセンター向け需要が回復基調となっておりますが、事業撤退を決定している当社においては、生産委託先での生産を2025年6月、顧客への出荷を同7月で終了いたしました。結果、売上高は38億65百万円（前年同期比49.1%減）となりました。

[プリンター関連]

プリンター関連は、顧客からの受注が減少しており、売上高は18億31百万円（前年同期比11.3%減）となりました。

[通信関連]

通信関連は、光通信用コネクタ・アダプタのデータセンター向け需要が好調であり、北米及びアジアでの売上が増加し、売上高は36億1百万円（前年同期比111.1%増）となりました。

(その他製品)

その他製品は、売上高は2億60百万円（前年同期比2.4%増）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産・負債・純資産の状況

[資産]

総資産は537億86百万円(前連結会計年度末比63億88百万円減)となりました。これは主に、現金及び預金が6億94百万円増加した一方、売掛金等の売上債権が48億18百万円、棚卸資産が16億94百万円、流動資産のその他に含まれる未収入金が9億9百万円減少したことによります。

[負債]

負債は240億78百万円(前連結会計年度末比95億4百万円減)となりました。これは主に、買掛金等の仕入債務が34億3百万円、借入金が36億10百万円、流動負債のその他に含まれる未払金が15億41百万円減少したことによります。

[純資産]

純資産は297億8百万円(前連結会計年度末比31億15百万円増)となりました。これは主に、為替変動等により為替換算調整設定が7億32百万円減少したものの、親会社株主に帰属する中間純利益により利益剰余金が33億95百万円増加したことによります。

②当期キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ6億58百万円増加し、当中間連結会計期間末には98億53百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動によるキャッシュ・フローは、57億98百万円の収入(前年同期は13億97百万円の支出)となりました。増加要因としては、主に税金等調整前中間純利益(41億7百万円)、減価償却費(11億43百万円)、売上債権の減少額(45億20百万円)、棚卸資産の減少額(14億85百万円)などがあり、減少要因としては、引当金の減少額(7億26百万円)、仕入債務の減少額(31億93百万円)、事業撤退に係る支払額(12億98百万円)などがあったことによります。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動によるキャッシュ・フローは、13億60百万円の支出(前年同期は22億72百万円の収入)となりました。これは主に固定資産の取得による支出(13億32百万円)があったことによります。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動によるキャッシュ・フローは、34億25百万円の支出(前年同中間期比33億22百万円の支出増)となりました。これは主に長期借入れによる収入(7億60百万円)があった一方、短期借入金の純減額(35億78百万円)、リース債務の返済による支出(1億14百万円)、長期借入金の返済による支出(5億4百万円)などがあったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、通期で売上高505億円(前連結会計年度比21.0%減)、営業利益58億円(同68.5%増)、経常利益59億円(同86.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は45億円(前連結会計年度は7億69百万円の親会社株主に帰属する当期純損失)を見込んでおります。

(注) 上記に記載した予想数値は、本資料の公表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,195	9,890
受取手形、売掛金及び契約資産	13,298	8,724
電子記録債権	1,630	1,386
商品及び製品	2,710	2,438
仕掛品	3,186	2,709
原材料及び貯蔵品	3,366	2,420
その他	1,609	631
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	34,996	28,200
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,763	5,472
機械装置及び運搬具(純額)	5,075	4,609
その他(純額)	4,169	4,763
有形固定資産合計	15,008	14,845
無形固定資産	278	212
投資その他の資産		
投資有価証券	5,898	6,529
その他	3,993	3,998
投資その他の資産合計	9,892	10,528
固定資産合計	25,179	25,586
資産合計	60,175	53,786
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,310	3,924
電子記録債務	334	317
短期借入金	10,373	6,555
1年内返済予定の長期借入金	981	654
未払法人税等	1,071	1,145
役員賞与引当金	—	14
賞与引当金	371	528
事業撤退損失引当金	845	—
その他	5,079	3,155
流動負債合計	26,368	16,296
固定負債		
長期借入金	3,754	4,288
退職給付に係る負債	918	912
株式給付引当金	37	60
その他	2,503	2,520
固定負債合計	7,214	7,781
負債合計	33,582	24,078

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,808	4,808
資本剰余金	2,838	2,838
利益剰余金	13,701	17,096
自己株式	△1,614	△1,562
株主資本合計	19,733	23,180
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,782	2,264
繰延ヘッジ損益	73	73
為替換算調整勘定	3,297	2,564
退職給付に係る調整累計額	1,706	1,625
その他の包括利益累計額合計	6,859	6,527
純資産合計	26,592	29,708
負債純資産合計	60,175	53,786

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	30,281	27,281
売上原価	27,411	20,514
売上総利益	2,869	6,767
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	332	299
報酬及び給料手当	766	733
役員賞与引当金繰入額	22	14
賞与引当金繰入額	86	140
退職給付費用	17	19
その他	1,616	1,492
販売費及び一般管理費合計	2,842	2,700
営業利益	27	4,066
営業外収益		
受取配当金	81	45
物品売却益	102	61
持分法による投資利益	—	47
為替差益	—	59
その他	88	85
営業外収益合計	272	298
営業外費用		
支払利息	157	180
持分法による投資損失	44	—
為替差損	410	—
その他	7	5
営業外費用合計	620	186
経常利益又は経常損失(△)	△321	4,179
特別利益		
投資有価証券売却益	4,006	—
固定資産売却益	0	6
その他	—	0
特別利益合計	4,007	6
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産廃棄損	5	5
減損損失	465	—
和解金	3,955	—
子会社整理損	—	71
特別損失合計	4,425	77
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△739	4,107
法人税、住民税及び事業税	271	672
法人税等調整額	57	40
法人税等合計	329	712
中間純利益又は中間純損失(△)	△1,068	3,395
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△1,068	3,395

(中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	△1,068	3,395
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,253	470
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	992	△649
退職給付に係る調整額	△74	△70
持分法適用会社に対する持分相当額	76	△83
その他の包括利益合計	△1,259	△331
中間包括利益	△2,328	3,063
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△2,328	3,063
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△739	4,107
減価償却費	1,258	1,143
減損損失	465	—
引当金の増減額(△は減少)	35	△726
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4	△88
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△140	△111
受取利息及び受取配当金	△109	△83
支払利息	157	180
持分法による投資損益(△は益)	44	△47
固定資産廃棄損	5	5
投資有価証券売却損益(△は益)	△4,006	—
和解金	3,955	—
売上債権の増減額(△は増加)	△2,519	4,520
棚卸資産の増減額(△は増加)	893	1,485
仕入債務の増減額(△は減少)	1,324	△3,193
その他	331	576
小計	960	7,771
利息及び配当金の受取額	109	83
利息の支払額	△211	△249
和解金の支払額	△2,000	—
事業撤退に係る支払額	—	△1,298
法人税等の支払額	△327	△540
法人税等の還付額	71	32
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,397	5,798
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△1,779	△1,332
固定資産の売却による収入	1	7
投資有価証券の売却による収入	4,050	—
貸付けによる支出	△0	—
定期預金の純増減額(△は増加)	—	△37
その他	0	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,272	△1,360
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	352	△3,578
リース債務の返済による支出	△98	△114
長期借入れによる収入	—	760
長期借入金の返済による支出	△58	△504
配当金の支払額	△303	△1
自己株式の処分による収入	3	13
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△103	△3,425
現金及び現金同等物に係る換算差額	482	△355
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,254	658
現金及び現金同等物の期首残高	7,387	9,195
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,641	9,853

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
顧客との契約から生じる収益	18,715	5,170	6,373	21	30,281	—	30,281
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	18,715	5,170	6,373	21	30,281	—	30,281
セグメント間の内部売上高 又は振替高	810	0	490	—	1,301	△1,301	—
計	19,525	5,170	6,864	21	31,582	△1,301	30,281
セグメント利益又は損失(△)	△504	△333	1,257	△11	407	△380	27

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△380百万円には、セグメント間取引消去△15百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△364百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社の企画・管理部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「日本」セグメントにおいて、収益性が低下し投資額の回収が見込めなくなった事業における固定資産の帳簿価額を、回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しています。なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間において465百万円であります。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
顧客との契約から生じる収益	15,083	4,424	7,734	38	27,281	—	27,281
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	15,083	4,424	7,734	38	27,281	—	27,281
セグメント間の内部売上高 又は振替高	810	1	656	—	1,468	△1,468	—
計	15,894	4,426	8,390	38	28,750	△1,468	27,281
セグメント利益又は損失(△)	1,712	389	2,335	△16	4,421	△354	4,066

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△354百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△354百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社の企画・管理部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 海外売上高

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

	タイ	中国	フィリピン	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	3,855	3,242	5,792	7,475	20,365
II 連結売上高(百万円)					30,281
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	12.8	10.7	19.1	24.7	67.3

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

	タイ	中国	フィリピン	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	3,100	4,318	2,725	7,054	17,197
II 連結売上高(百万円)					27,281
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	11.4	15.8	10.0	25.8	63.0

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) タイ……………タイ

(2) 中国……………中国

(3) フィリピン……………フィリピン

(4) その他の地域……韓国、米国、ベトナム、インドネシア、マレーシア、インド、ブラジル、メキシコ、スイス、ポーランド、ドイツ

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。